

株主懇談会 資料

# 当社の概況について

平成20年6月27日

中央電気工業株式会社

# 目次

・経営理念	P 1 ~ 2
・主な事業の動向	
（ 1 ）マンガン合金鉄事業	P 3 ~ 7
（ 2 ）環境事業	P 8 ~ 1 0
（ 3 ）機能材料事業	P 1 1 ~ 1 2
・業績推移	
（ 1 ）経常利益推移	P 1 3
（ 2 ）当期純利益推移	P 1 4
（ 3 ）セグメント別業績推移	P 1 5
・四つの経営方針	P 1 6
最後に	P 1 7

# ・ 経営理念

法令遵守と社会的モラルを尊重した

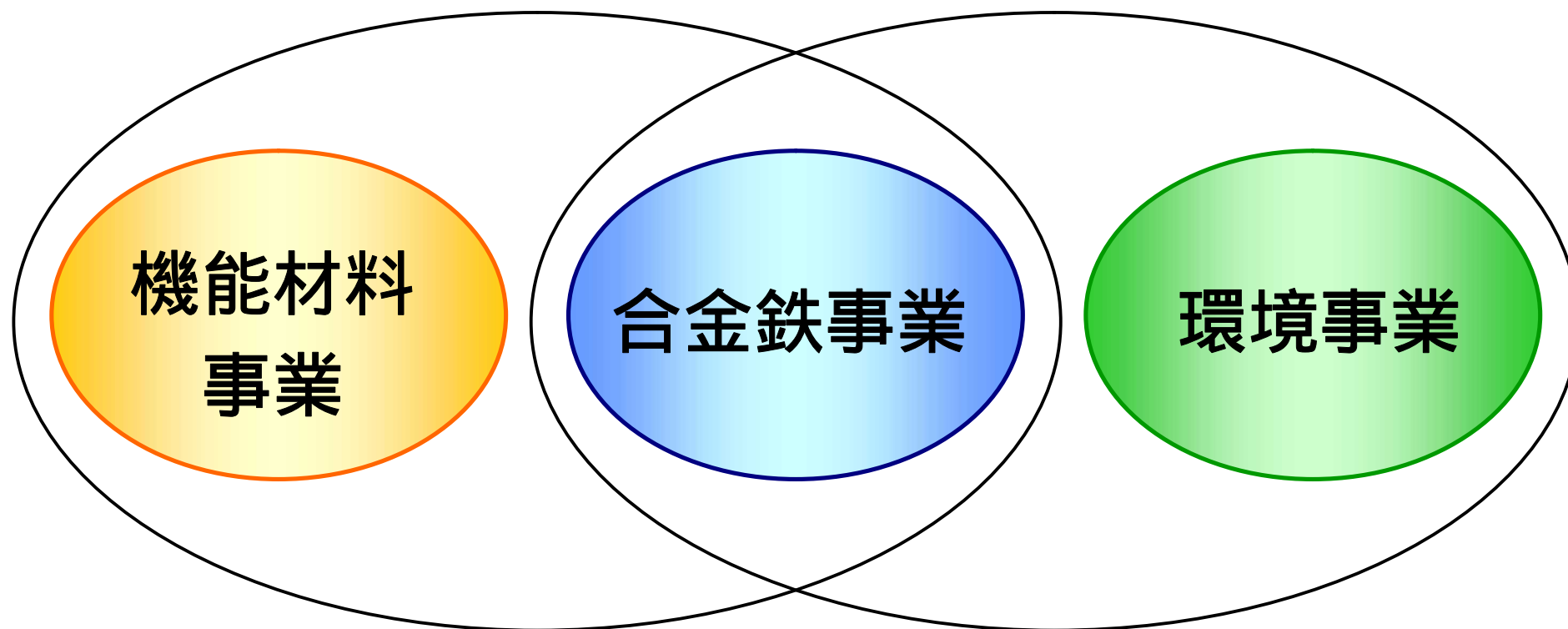
健全な事業活動を通じ

社会の繁栄に貢献するとともに、

ステークホルダーの皆様から

より信頼される企業を目指します。

# < 当社の事業領域 >



# ． 主な事業の動向

## （ 1 ） マンガン合金鉄（以下合金鉄）事業 鹿島工場

合金鉄は当社のコア事業。

“市況低迷時でも安定的な収益確保”が目標。

H18年、1号電気炉で大改修を実施。

更に本年には2号電気炉の改修を計画

需要増に対応した設備能力の最適化を図り、  
一層の安定稼働とコストの低減を目指す。

## 需要動向

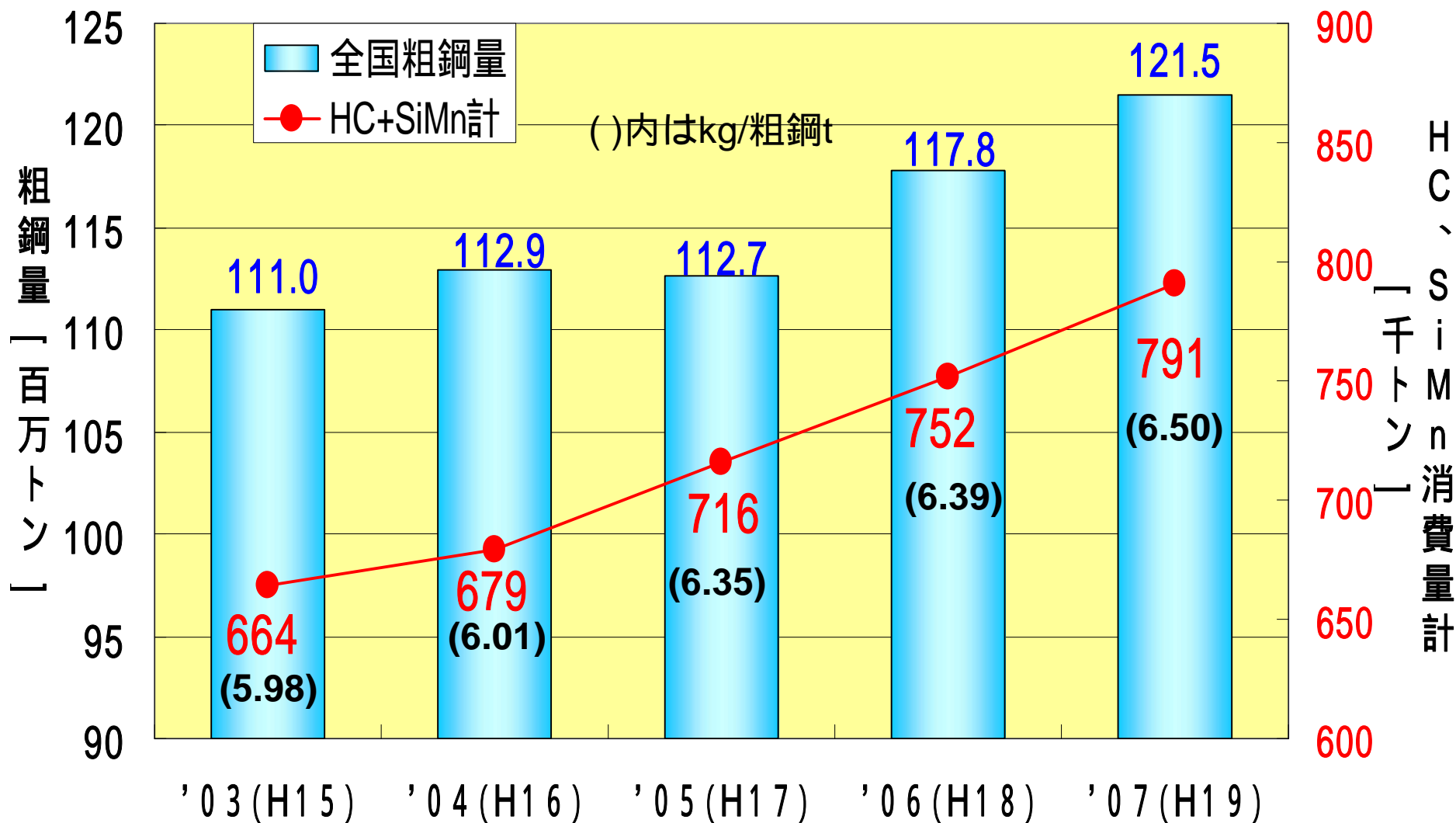
好調な粗鋼生産に支えられ、高水準な需要が続いている。

## 価格動向

去年は1年を通じて市況が大幅に上昇。

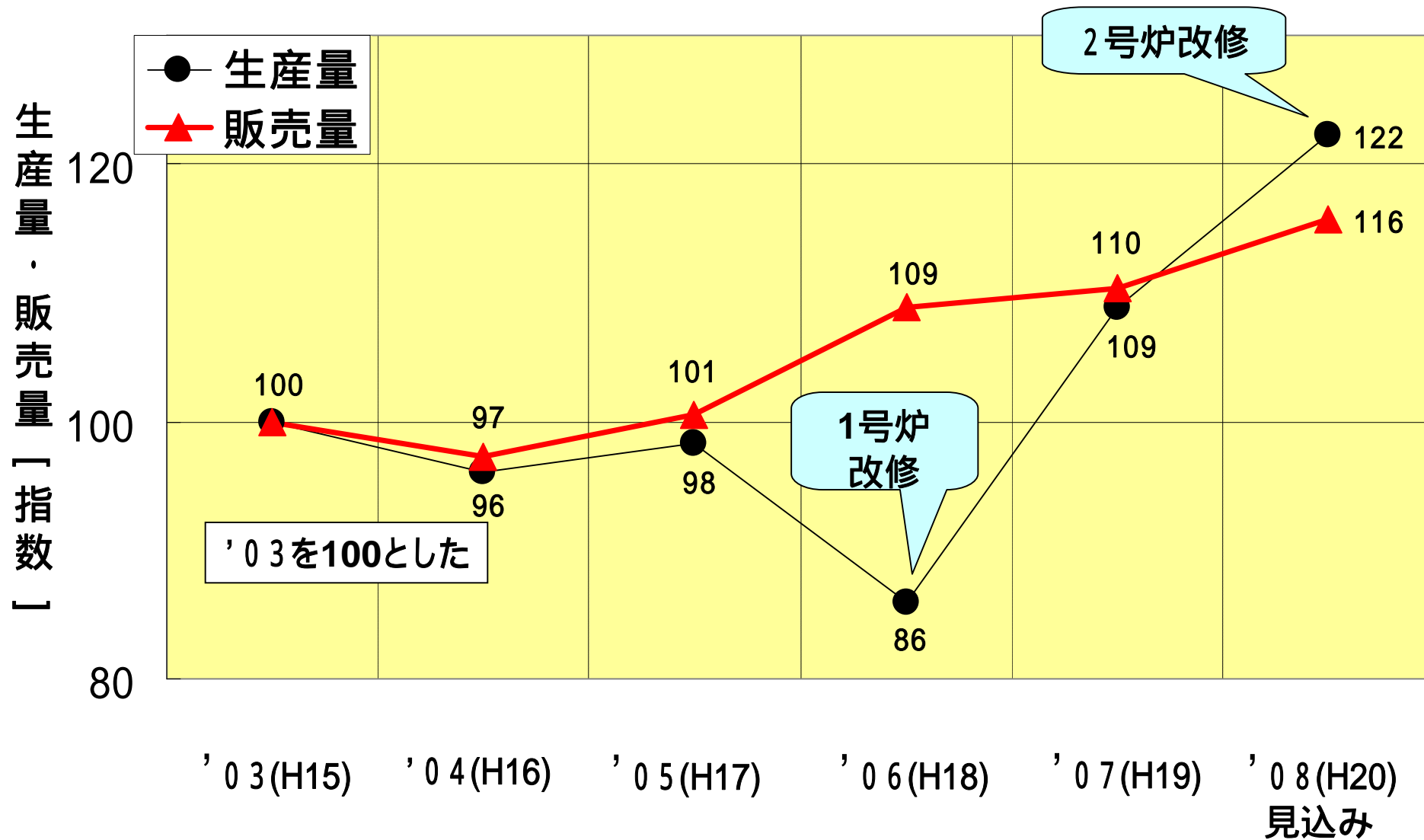
足下は更に上昇しているが、一方、マンガン鉱石、コークス、海上運賃も上昇。予断を許さない状況。

# 図1. 全国粗鋼量



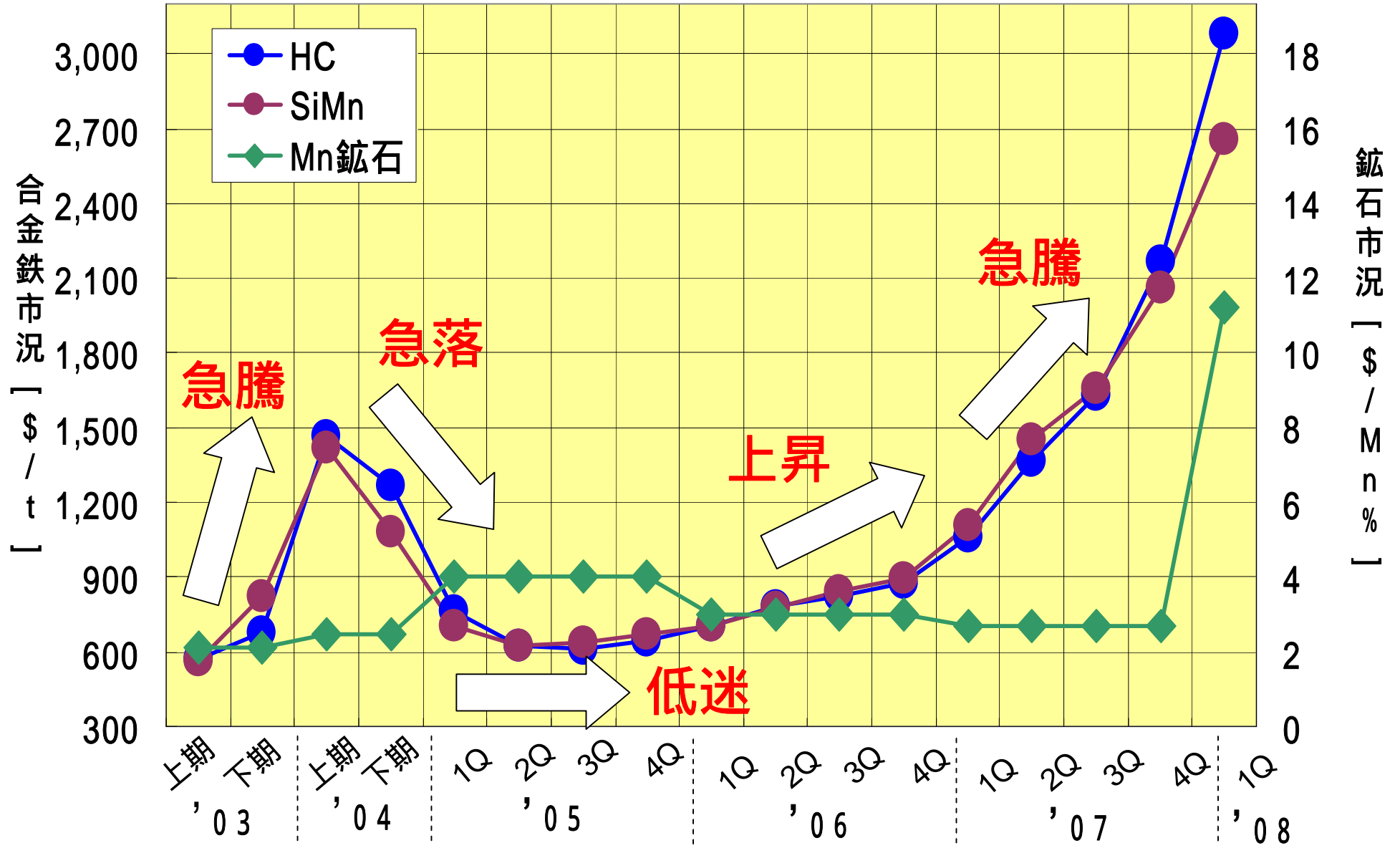
HCFeMnを以下HCと表す

# 図2. 当社の生産量・販売量





# 圖3 . 合金鐵市況推移



## ( 2 ) 環境事業

## 鹿島工場

平成7年、民間企業として日本で初めて  
焼却灰溶融処理を開始。

一般廃棄物焼却灰や産業廃棄物燃え殻は、  
社会的に年々その処理が困難に。

土壌や廃石綿の処理ニーズも高く、  
当社の果たすべき役割は増大。

当初、合金鉄炉活用でスタート後、  
専用炉を建設。  
『廃棄物溶融リサイクルセンター』に。

年間処理能力は合計6万5千トン。  
H17以降、年間約5万トンの処理を  
安定的に継続。  
H7以来、H20 / 3末で累計30万トン達成。

社会貢献事業、誠実・堅実な運営。

# 【環境事業(処理対象・施設・能力等)】

		H 7年 ~	H 14年	H 16年	H 17年 ~
処理対象		一般廃棄物焼却灰		→	
		産業廃棄物燃え殻		→	
		土壌		→	
		廃石綿		→	
処理施設	合金炉	1号炉	→		
		2号炉	→		
	専用炉		EM 1	EM 2	→
処理能力 / 年		14千t	40千t	65千t	65千t
処理量 / 年		10千t	26千t	40千t	50千t

### ( 3 ) 機能材料事業

妙高工場

主力は水素吸蔵合金。

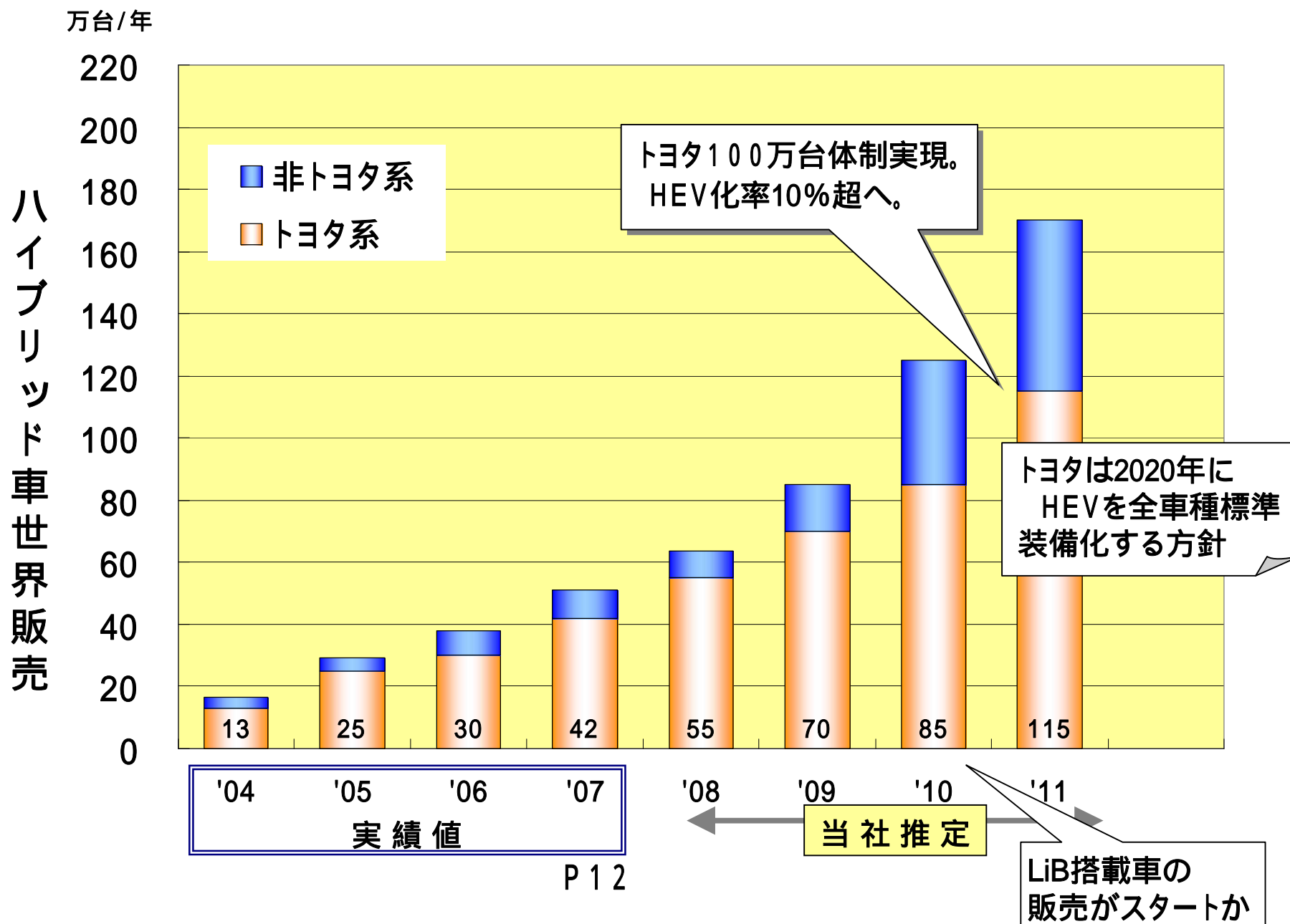
(以下『MH』、ニッケル水素電池の負極材料)

ハイブリッド自動車電池用の需要増加により、販売数量は増加。

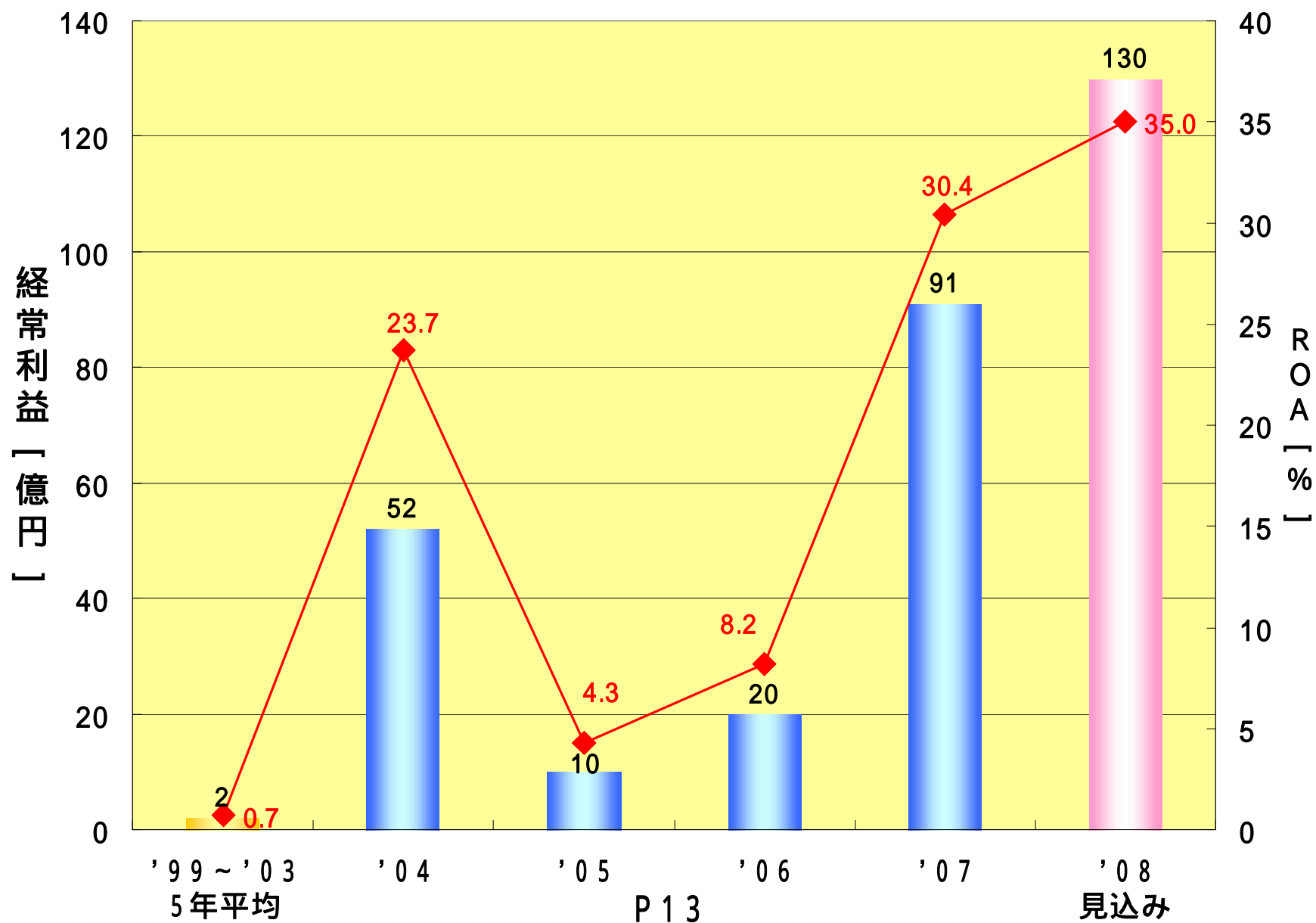
原材料価格変動の業績への影響を抑制するため、事業構造の改善(製品販売先からのNi、Co支給化)を進め、且つ、今後の需要増加に備え、本年、設備の増強を実施予定。

H19年度は、機能材料事業全体で7年ぶりの黒字達成。

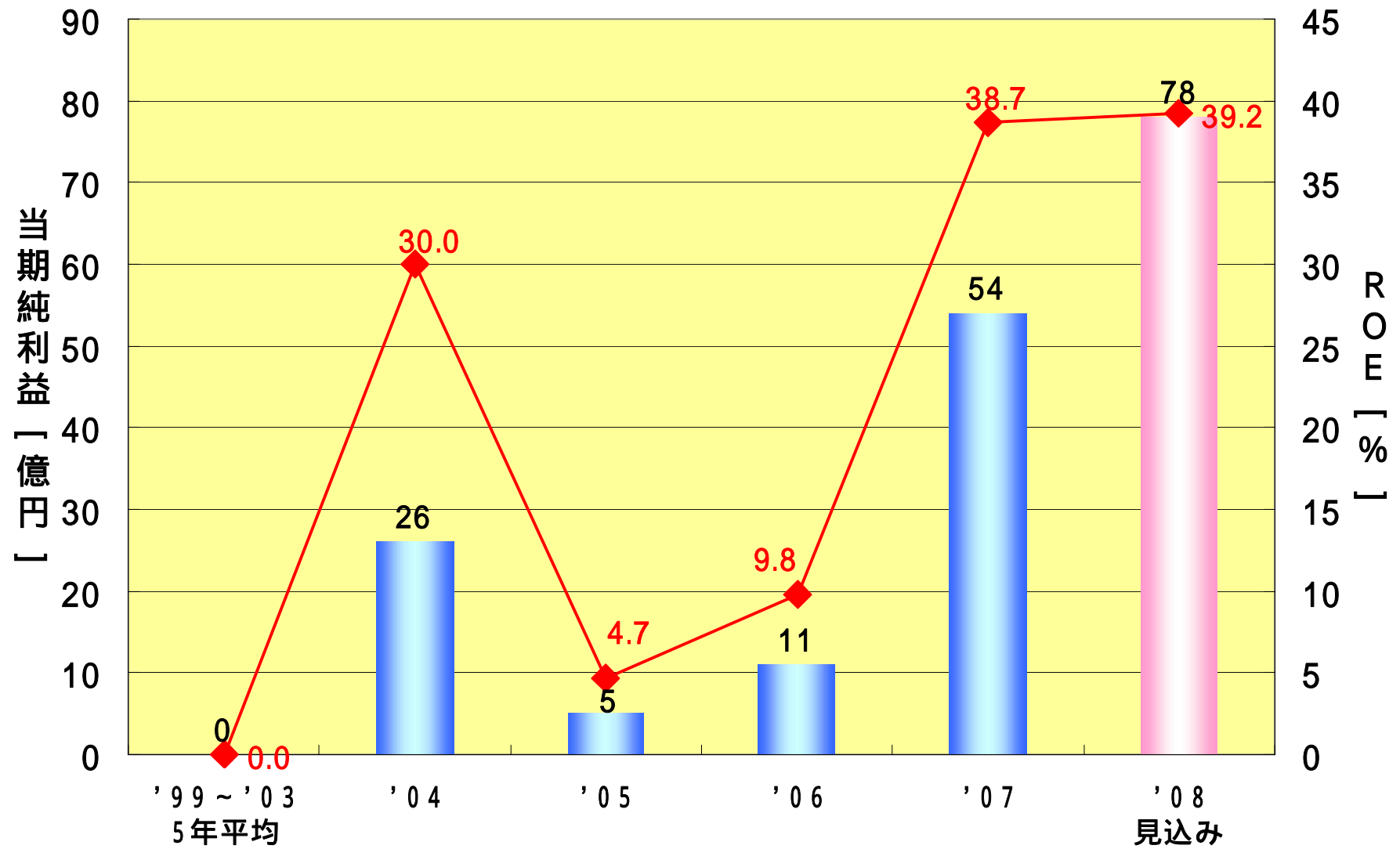
# 図4 . ハイブリッド車販売推移



# 業績推移 (1) 経常利益推移

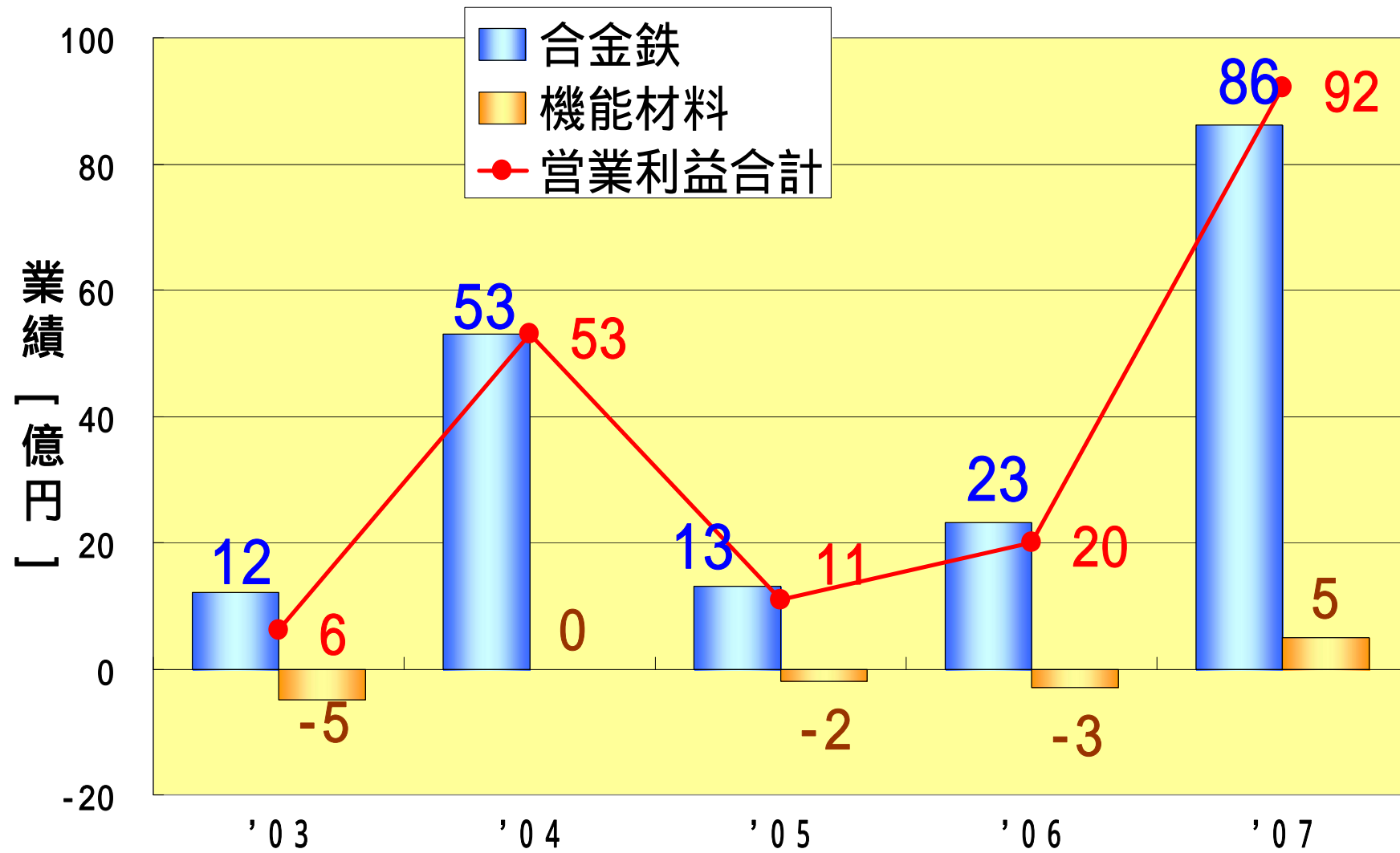


## (2) 当期純利益推移





### (3) セグメント別業績推移 (営業利益)



# . 4つの経営方針

## (1) 「小さくとも大きな存在感」

歴史ある中電の社員として誇りを持ち、利他精神で頼りとなる存在になろう

## (2) 「Lowest Cost Supplier」

他の追隨を許さぬコスト競争力を、技術進化により勝ち取ろう

## (3) 「他社に勝つ商品・サービス」

開発指向の事業運営により、世界で勝てる独自の  
商品・サービスを創造しよう

## (4) 「環境指向ビジネス」

次の世代のために、地球環境に貢献する事業の確立を目指そう

# 最後に

経営の透明性を高める為、  
迅速な情報開示に努め、株主の皆様のご期待に沿えるよう取り進めて参ります。

【ホームページアドレス】  
<http://www.chu-den.co.jp>

以上